



2020年度ティーチーズ・トレーニング連続講座

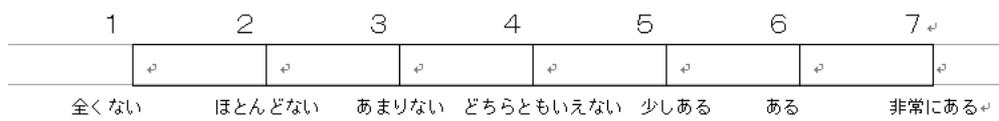
TOMOはうす

発達障害のある子どもやグレーゾーンの子どもの対応に悩むことはありませんか。

このトレーニングは、担任の先生や支援者の方々がこれらの子どもたちの特徴を理解し、様々な集団の場において子どもたちとよりよいコミュニケーションを図りながら対応していく具体的な方法を学んでいきます。「どのタイミングで」「どこに立って」「どんな表情で」「何と言って」子どもたちに接していくのか、ロールプレイしながら楽しく学ぶトレーニングです。

2019年度は、高知市では2コースが終了し、現在は病院職員さんのグループと仁淀川町の保健師さんのグループが受講中です。終了されたみなさんのアンケートによると、トレーニングを受ける前と後とを比べると受講者のみなさんの日々の実践の困り感が激減し、大変好評でした。

【2019年度トレーニング終了者20名 日々の実践の困り感平均】



実施前	→	実施後
6.2		3.4

「学級が荒れかけていたが落ち着いてきた(採用3年目小学校教諭)」「子どもがこわくて学童の支援員をやめようかと思っていたが、このトレーニングのおかげで楽しく支援ができた(60代学童支援員)」「問題行動が起こった時に、今までは(どうしよう)と途方に暮れていたが、今では(そうきたか)と心に余裕ができ、トレーニングで学んだどの接し方で子どもに対応しようか、何だか楽しくなってきた(小学校講師)」等々、これまでの受講者からはこのトレーニングの有効性を語る感想がたくさん寄せられました。

人は見たり聞いたりしただけでは、わかったつもりでも、なかなか自分のふるまい方を変えることは難しいです。このトレーニングは、半年間かけて「先生役」「子ども役」をロールプレイして対応の仕方を学びます。実際に「子ども役」を体験するからこそ、子どもの気持ちがわかるのです。



【毎回のトレーニングの流れ】

- ① 学んだことを次回までに職場で実践(=宿題)
- ② 成功例、失敗例ともに次回トレーニングで報告
- ③ 失敗例は原因の分析を、成功例はみんなで共有

このサイクルで半年間学び続けるので、みなさん、みるみる対応の仕方が上手になり最終回ともなると、あの手この手を使って、子どもたちといい関係を築いていけます。その姿に仲間どうしが感動し、そしてお別れが寂しくなる、こんな楽しくて深い学びができるトレーニングにあなたもトライしてみませんか。

☆場所：健康カフェとりごえ(高知市鳥越1-1 Tel.088-856-6470)

☆日時：毎月1回日曜日 9:30~11:30

①8/30 ②10/4 ③11/1 ④12/6 ⑤1/17 ⑥2/7 ⑦フォローアップ3/7

☆参加費：17,500円

【講師】 辻田亜子(特別支援学校教員) 久武夕希子(特別支援教育士) 質問、申し込み等は、

- ① お名前
 - ② 所属
 - ③ 職種
 - ④ すぐ連絡がつくメールアドレス
 - ⑤ すぐ連絡がつく電話番号
 - ⑥ TOMOはうすからのご案内をさしあげてもいいか
- を明記の上、下記(TOMOはうす・久武)まで。

TOMOはうす HP「TOMOはうす」ブログ「TOMOはうすの最近のできごと」

メールアドレス tomohouse2012@gmail.com

